

課題番号：7

課題名		廃炉プロセス「燃料デブリ取り出し」 検討対象「作業性」 課題「 <b>遮蔽・除染対策</b> 」	
具体的ニーズ		望ましい状態とその理由	(参考) 関連する研究課題
1	建屋内の除染方法を確立したい。	●作業エリアを確保し、作業員被ばくを低減するために、除染を施すべき箇所に応じた除染作業の方策（遠隔技術、人手による実施）を確立することが望まれる。 ●適切な除染計画をたてるために、現在の汚染状況を踏まえ、除染による作業対効果（どこまで除染・遮蔽するか含む）の評価方法を確立することが望まれる。	課題リスト3/12「コンクリート内へ浸透したCsの分離除去技術の開発」
2	遮へい方策を確立したい。	●燃料デブリ取り出し時や分析時等の作業員被ばくを低減するために、現場に適用可能な遮へい方策を確立することが望まれる。 ●作業員の被ばく低減や遠隔機器等の放射線影響による劣化を抑制するために、作業エリアや機器の適用箇所を鑑みた遮へい方策を確立することが望まれる。	H30年度英知「ナノ粒子を用いた透明遮へい材の開発研究」
			課題リスト11/12「代替遮蔽材の検討」
			課題リスト5/12「放射線遮蔽に関する規制対応方策の検討」
			課題リスト5/12ページ「廃炉工程における作業員被ばく低減のための遮蔽手法の検討」
関連する課題		○「基礎・基盤研究の全体マップ（詳細版）」にて、本課題と矢印で結ばれた課題は関連する課題です。ご参照ください。 ○また、「燃料デブリ取り出し」と「処理・処分・環境回復（燃料デブリに由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」、「輸送・保管・貯蔵（燃料デブリに由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」を結ぶ「キャラクターゼーション（廃棄物管理のための）」も、本課題と関連する課題です。ご参照ください。	